■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026年9月18日

□S造・階段エリア

コン止め、内壁用のピース（みで端、Lアングル）等を、プランを見て検討する必要がある。
（鉄骨柱には平面上ではわからない、ピースや節があり、内装との関係を考慮する。
工場であらかじめ付けなければならないため初期の検討が大事である。
構造デッキは、デッキとコンクリートで一体の構造体なので、切断は不可。

普段私が注意して確認している箇所を全て説明頂いておりました。よく分かる説明でした。
鉄骨には「下地」がとても大事だと感じました。

メモしておりました。

□RC造・EVエリア

又には鉄骨と異なり、ピースを付けるというよりかは、ピースを埋め込むため。
FBやアングルを、溶接用に仕込まなければならない、埋めこむ部材について分かりやすく説明して頂けました。バレンはメーカーや形状を確認する。
普段見れない型枠を見ることが出来た。以後図面で起こす表現で勉強になりました。

□外装・屋上エリア

施工図のみでなく、製作図の納め方、形状についても教えて頂きました。
各メーカーとの調整についても施工図には必要である。
必要な下地についても細かく教えて頂きました。

□内装エリア

天井仕上について、設備、建築の下地についてよく分かりました。住み分けが大事とのこと。
（システム天井）
実際の図面と照らし合わせての説明でしたし、細かな施工図の注意点も教えてくれました。
イメージが湧きやすく良かったです。

■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026 年 9 月 18 日

□S 造・階段エリア

S 造の施工手順（柱、大梁、小梁、デッキ、スラブ）と、工期短縮・軽量化といった構造的特長を再確認しました。特に現場での納まりにおいて、図面には現れないエレクションピースやコラムステージ、スプライスプレート、さや管などの「施工用パーツ」が多岐にわたることを実物で確認できたのは大きな収穫でした。

デッキプレート: F デッキと構造デッキの使い分け、短手方向への架け方、段差部のふかし処理など、実務に直結する留意点を学びました。スタッドボルトによるせん断力向上や、構造デッキへのインサート設置不可などの制約も重要です。

鉄骨階段: ささら桁が全体を保持する構造であるため、3D での検討が不可欠であることを実感しました。手すり根元の溶接接合や、法規制・仕上げとの取り合いなど、細部の精度が全体の品質を左右することを学びました。

□RC 造・EV エリア

コンクリートかぶり厚確保のためのスペーサー配置や、各種開口部（人通口、スリーブ等）への補強筋の重要性を学びました。また、型枠セパレータの緩み防止（バイブレーターとの関係）や、圧接不能時のグラート継手採用など、トラブルを未然に防ぐ知識を深めることができました。

基礎・ピット: 設備計画やピットの防水仕様との連動が不可欠です。足場部材の地域差（丸パイプ・角パイプ）についても、コストや調整面で留意が必要だと感じました。

EV シャフト: 東芝エレベーター等の見学を通じ、最下部の湧水対策（釜場・ポンプ）や、地中梁の干渉検証が非常に重要であることを再認識しました。

□外装・屋上エリア

ALC や ECP パネルの納まりについて、逃げ寸法（鉄骨クリアランス 35～40㎜）や割り付け、防水処理のポイントを確認しました。

屋上防水: 排水勾配の確保、パラペットの水切り・誘発目地、ルーフドレーンの容量オーバーに対するオーバーフロー処理など、漏水防止に直結する施工詳細を学びました。

仕上げ: ウッドデッキの先行取り合いや、ハト小屋周囲の作業スペース（ホームタイ締め付け等）の確保など、後工程を考慮した計画の重要性を学びました。

□内装エリア

断熱・遮音材の選定と施工精度、および天井・設備の干渉対策を重点的に確認しました。

断熱・遮音: 吹付断熱の厚み管理（色付きピン）や、GW ボードによる遮音対策、結露防止のダクト処理を徹底する重要性を学びました。

天井・LGS: システム天井と在来天井の構造差、およびインサートピッチの管理を確認しました。LGS 壁における開口補強（三方枠溶接や無溶接工法）や、建具枠の標準寸法（一般 65㎜、エアタイト時 70～75㎜）など、詳細図作成時に役立つ数値基準を整理できました。

□全体

当施設ならではの精巧かつ実践的な実物大モックを直接見学できたことで、図面上では捉えきれなかった各部材の立体的な収まりや干渉関係を非常に明確に理解することができました。

図面には現れない施工用の仮設金物・補強パーツや、免震装置周辺のクリアランス（600～700㎜ 程度）など、現場管理において事前に配慮すべき重要なポイントを網羅的に学ぶことができました。構造・仕上げ・設備のそれぞれが密接に関連していることを再認識し、事前の総合図検討や施工図チェックの精度を高めることの重要性を実感しました。

□その他感想や要望等自由記入

今回の研修では、各エリア・項目ごとに専門の講師の方々がついてくださり、班ごとに分かれて丁寧な解説と質疑応答を受けながら巡回できたため、疑問点もその場ですぐに解消でき、大変勉強になりました。

書面や二次元の図面学習だけではイメージしにくい納まりや取合いの感覚を、実物モックを通じて視覚的・体感的に学べる機会は非常に貴重であると感じております。施工図の理解深耕や現場管理能力の向上に直結する非常に有意義な研修内容でしたので、ぜひ今後もこうした実機・実物モックを活用した体験型の研修を継続的に開催していただけると有難いです。

■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026 年 9 月 18 日

□S 造・階段エリア

S 造の施工手順（柱、大梁、小梁、デッキ、スラブ）と、工期短縮・軽量化といった構造的特長を再確認しました。特に現場での納まりにおいて、図面には現れないエレクションピースやコラムステージ、スプライスプレート、さや管などの「施工用パーツ」が多岐にわたることを実物で確認できたのは大きな収穫でした。

デッキプレート: F デッキと構造デッキの使い分け、短手方向への架け方、段差部のふかし処理など、実務に直結する留意点を学びました。スタッドボルトによるせん断力向上や、構造デッキへのインサート設置不可などの制約も重要です。

鉄骨階段: ささら桁が全体を保持する構造であるため、3D での検討が不可欠であることを実感しました。手すり根元の溶接接合や、法規制・仕上げとの取り合いなど、細部の精度が全体の品質を左右することを学びました。

□RC 造・EV エリア

コンクリートかぶり厚確保のためのスペーサー配置や、各種開口部（人通口、スリーブ等）への補強筋の重要性を学びました。また、型枠セパレータの緩み防止（バイブレーターとの関係）や、圧接不能時のグラート継手採用など、トラブルを未然に防ぐ知識を深めることができました。

基礎・ピット: 設備計画やピットの防水仕様との連動が不可欠です。足場部材の地域差（丸パイプ・角パイプ）についても、コストや調整面で留意が必要だと感じました。

EV シャフト: 東芝エレベーター等の見学を通じ、最下部の湧水対策（釜場・ポンプ）や、地中梁の干渉検証が非常に重要であることを再認識しました。

□外装・屋上エリア

ALC や ECP パネルの納まりについて、逃げ寸法（鉄骨クリアランス 35～40㎜）や割り付け、防水処理のポイントを確認しました。

屋上防水: 排水勾配の確保、パラペットの水切り・誘発目地、ルーフドレーンの容量オーバーに対するオーバーフロー処理など、漏水防止に直結する施工詳細を学びました。

仕上げ: ウッドデッキの先行取り合いや、ハト小屋周囲の作業スペース（ホームタイ締め付け等）の確保など、後工程を考慮した計画の重要性を学びました。

□内装エリア

断熱・遮音材の選定と施工精度、および天井・設備の干渉対策を重点的に確認しました。

断熱・遮音: 吹付断熱の厚み管理（色付きピン）や、GW ボードによる遮音対策、結露防止のダクト処理を徹底する重要性を学びました。

天井・LGS: システム天井と在来天井の構造差、およびインサートピッチの管理を確認しました。LGS 壁における開口補強（三方枠溶接や無溶接工法）や、建具枠の標準寸法（一般 65㎜、エアタイト時 70～75㎜）など、詳細図作成時に役立つ数値基準を整理できました。

□全体

当施設ならではの精巧かつ実践的な実物大モックを直接見学できたことで、図面上では捉えきれなかった各部材の立体的な収まりや干渉関係を非常に明確に理解することができました。

図面には現れない施工用の仮設金物・補強パーツや、免震装置周辺のクリアランス（600～700㎜ 程度）など、現場管理において事前に配慮すべき重要なポイントを網羅的に学ぶことができました。構造・仕上げ・設備のそれぞれが密接に関連していることを再認識し、事前の総合図検討や施工図チェックの精度を高めることの重要性を実感しました。

□その他感想や要望等自由記入

今回の研修では、各エリア・項目ごとに専門の講師の方々がついてくださり、班ごとに分かれて丁寧な解説と質疑応答を受けながら巡回できたため、疑問点もその場ですぐに解消でき、大変勉強になりました。

書面や二次元の図面学習だけではイメージしにくい納まりや取合いの感覚を、実物モックを通じて視覚的・体感的に学べる機会は非常に貴重であると感じております。施工図の理解深耕や現場管理能力の向上に直結する非常に有意義な研修内容でしたので、ぜひ今後もこうした実機・実物モックを活用した体験型の研修を継続的に開催していただけると有難いです。